

## 地元の大学生が刈り取ったお米が「新潟市のごみ袋」に！

### 原料となる「資源米」の稲刈りを実施します！



令和5年度の稲刈りの様子

本市は、2050年までに二酸化炭素の排出を実質ゼロとする「ゼロカーボンシティ」を目指し、カーボンニュートラルであるバイオマスプラスチックの利用を推進しています。

この一つとして「市町村内で栽培したお米を原料にしたバイオマスプラスチック製の指定ごみ袋」を今年初めて導入しました。

このたび、来年分のごみ袋を製造するため、ごみ袋の原料となる資源米（非食用米）の稲刈りを、環境系サークルに所属する地元の大学生とともに実施しますので、広報にご協力頂きたく、よろしくお願い申し上げます。

#### 記

- 日時** 令和6年9月6日（金）午後2時00分から午後2時30分  
※雨天中止
- 場所** 江南区横越地区（農事組合法人あけぼのクラブ生産圃場）
- 出席者** 新潟市 副市長 野島 晶子  
株式会社バイオマスレジマーケティング 代表取締役社長 山田真  
新潟環境ネットワーク N-econet 大学生6人（新潟大学、新潟県立大学）
- 内容** 資源米の稲刈り（手刈り）の実演、記念撮影 など
- 備考** バイオマスごみ袋の詳細等については、別紙「事業概要」  
取材希望の場合は、別紙「取材申込書」にて申し込みください。

(株)バイオマスレジマーケティング 杉原  
TEL 080-5099-1023

#### お問い合わせ



新潟市環境部循環社会推進課 近  
TEL 025-226-1391

～お米づくりから派生するゼロカーボンへの挑戦～



取組内容

- お米（資源米※）の生産 ※非食用米  
新潟市内でお米のバイオプラスチック用の資源米を生産
  - ・農地所有適格法人 株式会社やまがら（西蒲区）
  - ・農事組合法人 あげぼのクラブ（江南区）
- 新潟市内の資源米を使った「指定ごみ袋」導入  
生産した資源米を使った「指定ごみ袋（20ℓ・小）」導入
  - ・「指定ごみ袋（20ℓ・小）」を令和6年度内に500万枚  
（低密度バイオポリエチレン、新潟市産の米10%配合）

ポイント

- 市内で生産されたお米を原料とした指定ごみ袋を導入することは全国初の取り組み＝「田園型環境都市にいがた」のPR
- ごみ袋を通じて、環境問題やプラスチック削減などを意識するきっかけに＝「ゼロカーボンシティ」の取組みPR

ごみ袋ができるまで

西蒲区と江南区で育てた「お米（資源米）」が、工場でお米のプラスチック「ライスレジン®」になり、それを原料とした「新潟市の家庭用ごみ袋」に生まれ変わります。



市民のみなさんがこのライスレジン製ごみ袋を使う事によって、これまでより「二酸化炭素の排出を10%抑制」することができます。

ごみ袋のデザイン（令和5年度製造分）



← 持ち手部分に稲穂をデザイン

← お米のごみ袋に変わる理由や効果

← 取組みに賛同する企業名（ロゴ）

← 「バイオマスマーク」「ライスレジンマーク」

※令和6年度製造分の袋の流通は、令和7年4月以降を予定

9月5日（木）正午までにメールまたはFAXにてお申し込みください。

E-mail [junsui@city.niigata.lg.jp](mailto:junsui@city.niigata.lg.jp)

FAX 025-222-7032

新潟市環境部循環社会推進課 行

9月6日（金）14:00～ ごみ袋の原料となる「お米」の稲刈り

取材申込書

社名		
連絡先	氏名	
	電話番号	
	FAX番号	

【案内地図】

新潟市江南区横越 2077 付近



上記の二次元コードよりグーグルマップの位置情報を確認できます。